



## 2007年度上半期の活動状況

2007年9月10日現在

ブロック	北海道	東北		関東・甲信越ブロック	
開催地	札幌	盛岡	仙台	千葉	大宮
開催日	6月3日	6月3日	6月24日	6月10日	9月2日
特別講演	平松記念病院 矢萩 英一	岩手医科大学 武内 克也	佐藤病院 栗田 征武	八千代病院 山内 直人	埼玉医科大学総合医療センター 松木 秀幸
症例検討				袖ヶ浦さつき台病院 石毛 稔	南埼玉病院 大澤 良郎
活動紹介	道央佐藤病院 柳 智之	笠松病院 谷藤 弘淳	笠松病院 谷藤 弘淳	浅井病院 菅野 ゆみか	順天堂越谷病院 大塚 桂子
		弘前愛成会病院 内山 道子	弘前愛成会病院 内山 道子	しのだの森ホスピタル 古原 大司	秩父中央病院 加藤 剛
参加人数	55	33	30	33	46

ブロック	関東・甲信越ブロック	東海	北陸	近畿	
開催地	東京	名古屋	金沢	大阪①	大阪②
開催日	9月16日	7月8日	6月10日	6月24日	7月29日
特別講演	杏林大学 大野 孝浩	愛知医科大学 森 康浩	富山県立中央病院 殿谷 康博	浅香山病院 谷口 典男	浅香山病院 谷口 典男
症例検討	慶應義塾大学 菊地 俊暁	三河病院 大賀 肇	金沢大学 金田 礼三	水間病院 岡 秀雄	水間病院 岡 秀雄
活動紹介	桜ヶ丘記念病院 吉尾 隆	豊田西病院 大岩 真二	谷野呉山病院 雨宮 保子	山本病院 浅水 佐枝	山本病院 浅水 佐枝
	桜ヶ丘記念病院 山口 洋介	共和病院 齋藤 玲子	魚津緑ヶ丘病院 広沢 求	阪南病院 前田 朋子	阪南病院 前田 朋子
参加人数	未	49	42	62	59

ブロック	中国・四国		九州	
開催地	高知	広島	福岡	熊本
開催日	5月20日	7月1日	7月22日	9月22日
特別講演	徳島大学 上野 修一	徳島大学 上野 修一	福岡大学医学部 永井 宏	弓削病院 相澤 明憲
症例検討	芸陽病院 澤田 健	草津病院 寺嶋 康	筑豊病院 岡元 健一郎	明生病院 秋田 宏弥
活動紹介	富田病院 岡本 尚美	己斐ヶ丘病院 橋本 洋子	道ノ尾病院 原田 均	明生病院 小場佐 仁美
			八幡厚生病院 柴田 木綿	菊陽病院 井上 裕子
参加人数	30	34	55	未

## 精神科薬剤師の活動紹介を行って感じたこと

春のPCP研究会上期ブロック講演会において「精神科薬剤師として、ぶつかる壁をどう乗り越えるか？」というタイトルで話をした。私の「壁」つまり悩みは、精神疾患を抱えた患者が、治療のために薬を服用しながらも、その副作用に悩んでいるという現実。服薬指導のたびに副作用に苦しんでいる姿を目の当たりにする。もっと人間らしく生きてほしい。自分は何ができるのだろうと悩み続けていた。一緒にセッションを組んだのは、地区の精神科薬剤師のリーダー的存在。事前の打ち合わせで彼らに自分の悩みを正直に話した。批判されるかと怖かったが、彼らの反応は驚くほどやさしく、私の気持ちを理解してくれた。精神科医療の中で私達薬剤師は何ができるか、どんな変革をもたらすことができるか、まず何からスタートすべきか、時間も忘れて話し合った。自分の悩みを理解し、いつでも励ましてくれる仲間がいる。一人で悩み続ける必要はないと気がついた。「薬剤師は、チーム医療のコーディネーター」。確かにそうだ。チーム医療を実践している病院の薬剤師は、各職種を結びつける役割をしている。少し光が見えてきた感じ。自分の専門性を身につけながら、「愛のあるスタッフ」と現在の状況を少しずつでも変えていこう。(MU)

## ★ PCP研究会に対してのご意見・ご要望（会場アンケートより）★

### ■研究会が100人の村だったら・・・（重複回答あり）

- ・特別講演：75人が興味深いと感じ、50人が理解できた。臨床上に役立ったと答えたのは35人。5人は難しいと感じた。
- ・ワークショップ：70人が興味深く感じ、理解できたのは25人。58人が臨床上役に立つと思ったが、9人にとっては難しかった。
- ・勉強会の時間：80人にとって時間的に丁度良いが、20人にとっては長い。

### ☆もう少し開催時間を短くできないか？

⇒はるばる遠方から参加するため、みっちり勉強する時間を取りたいという声もあります。また研修シール取得のために必要な講義時間を確保する必要もあり、しばらくは現状のままの運営を考えています。

### ☆講演会の内容は前回よりもレベルアップして欲しい！

⇒参加者の経験実績は様々です。今は基礎固めの時期だと考えています。

### ☆抗うつ剤などの話も聞きたい

⇒今後は取り上げていきたいと思います。



内容てんこ盛りで長時間に渡る勉強会ですが、多くの参加者から「有意義であった」との声を聞かせていただくことができ、世話人一同胸をなでおろしております。アンケートのご意見も参考にし、皆様から「次回も期待しているよ」、と言われる会を目指します。（広報委員NM）

## 精神科専門薬剤師認定制度について

日本病院薬剤師会誌2007年7月号に精神科薬物療法認定薬剤師および精神科専門薬剤師認定申請資格が示されました。詳しい日程や申請に必要な書類の書式、講習会の日程、内容などは今後専門薬剤師認定制度委員会精神科薬物療法小委員会で検討され、順次公表されます。今後、会員の先生方には、精神科薬物療法認定薬剤師および精神科専門薬剤師として認定されるために準備を始めて頂きたいと思います。学会発表、論文などは多くの時間と労力が必要ですので、今から準備をしておくことが大切です。精神科薬物療法認定薬剤師の認定のためには「精神疾患患者への薬剤管理指導の実績が50症例以上（複数の精神疾患）」を用意しておかなければなりません。また、精神科専門薬剤師の認定のためには、「日本医療薬学会、日本薬学会、日本薬剤師会学術大会、精神科領域の学会、関連する国際学会あるいは全国レベルの学会において、精神科領域に関する学会発表が3回以上（うち、少なくとも1回は発表者）、複数査読制のある国際的あるいは全国的学会誌・学術雑誌に精神科領域の学術論文が2編以上（うち、少なくとも1編は筆頭著者）」の条件に基づく学会発表と論文の投稿を行っておかなければなりません。

精神科薬物療法認定薬剤師及び精神科専門薬剤師の一般認定に先立ち、過渡的措置による精神科専門薬剤師の認定は平成19年度中に行い、精神科薬物療法認定薬剤師および精神科専門薬剤師の認定を行うための認定審査委員会委員、精神科薬物療法認定薬剤師および精神科専門薬剤師認定試験実行委員会委員などとして実際の認定制度の運営に当たることになります。

PCP研究会の会員は既に統合失調症の薬物治療に関する多くの講習を受けています。本研究会による講習会を今後も受講し、精神科薬物療法認定薬剤師及び精神科専門薬剤師の認定試験に備えて頂けることを期待しています。（吉尾 隆）

## 2007年度下期ブロック講演会開催案内(2007年10月～2008年3月)(予定)

※詳しい日程、内容などにつきましては後日改めてご連絡いたします。ご自分のブロック以外の講演会に参加を希望される場合は予め事務局までご連絡下さい。皆様多数のご参加をお願いいたします。

ブロック	場所	開催日	会場
北海道	札幌	3月16日(日)	北海道医療大学 札幌サテライトキャンパス
東北	盛岡	11月18日(日)	マリオス
	仙台	11月4日(日)	戦災復興記念館
関東甲信越	東京	3月23日(日)	J Aビル 国際会議室
	大宮	3月 2日(日)	大宮ソニックシティ
	千葉	2月 24日(日)	大塚製薬(千葉支店) 会議室
東海	名古屋	3月16日(日)	名古屋ルーセントタワー
北陸	金沢	1月13日(日)	地場産業振興センター 第1研修室
近畿	大阪①	1月20日(日)	梅田スカイビル
	大阪②	2月24日(日)	梅田スカイビル
中四国	岡山	3月16日(日)	岡山コンベンションセンター 407会議室
	徳島	2月10日(日)	徳島県JA会館 本館8F 特別室
九州	福岡	1月27日(日)	大塚製薬(福岡支店) 会議室
	鹿児島	2月 3日(日)	鹿児島県医師会館
	沖縄(年1回開催)	10月28日(日)	健康文化村 カルチャーリゾート フェストーネ

### 共同研究(全国処方調査) 参加施設募集!

PCP研究会では、更に調査の裾野を広げ、母数を増やすことで日本におけるより詳細な処方実態、及び処方動向の変化を捉えることを目的として、本年も10/31(水)に全国処方調査を実施いたします。適切な精神科薬物療法の推進、並びに精神科薬剤師の存在意義をアピールするためにも、皆様のご協力をお願いいたします。

調査に参加を希望される方は、PCP研究会事務局(e-mail: pcp-secretariat@nifty.com)までメールにてご連絡下さい。追って資料を送付いたします。なお、応募締め切りは2007年10月10日とさせていただきます。

### 2007年度会費納入のご案内

(2007年4月～2008年3月分: ¥2,000-)

Advance No.2にてご案内して、既に多数の方からお振り込みいただいておりますが、まだの方はよろしくお願いたします。

【郵便局】 口座名: 精神科臨床薬学研究会  
口座番号: 00170-2-578959

※通信欄に、必ず施設名と会員名を記入して下さい。

### 講演DVD「抗精神病薬の副作用」貸出について

2007年上期講演会を欠席された皆様にDVDを貸出いたします。希望される方は事務局までご連絡下さい。

### 【事務局連絡先】

E-mail: pcp-secretariat@nifty.com

(メールには必ず、1.施設名、2.氏名を記載して下さい。)

URL: homepage2.nifty.com/pcprg/ Fax: 03-6717-1484

### 【編集後記】

この夏、ヘルメット・救命胴着を着けゴムボートで川を下る「ラフティング」を体験しました。「ワーワー、キャーキャー」言いながら、流れの激しいポイントをクリアすることに皆がオールを高く掲げて歓喜の声を上げます。普段の自分と違って真剣な表情で『激流と格闘』している写真は、今年の夏の思い出となりました。さて8月末の原稿締切を無事クリアし、Advance No.3をお届けします。皆様、実りある秋を迎えましょう。(NM)

